

9. 事業の客観性・透明性確保に向けた取り組み

(1) ダム事業改革の取り組みについて

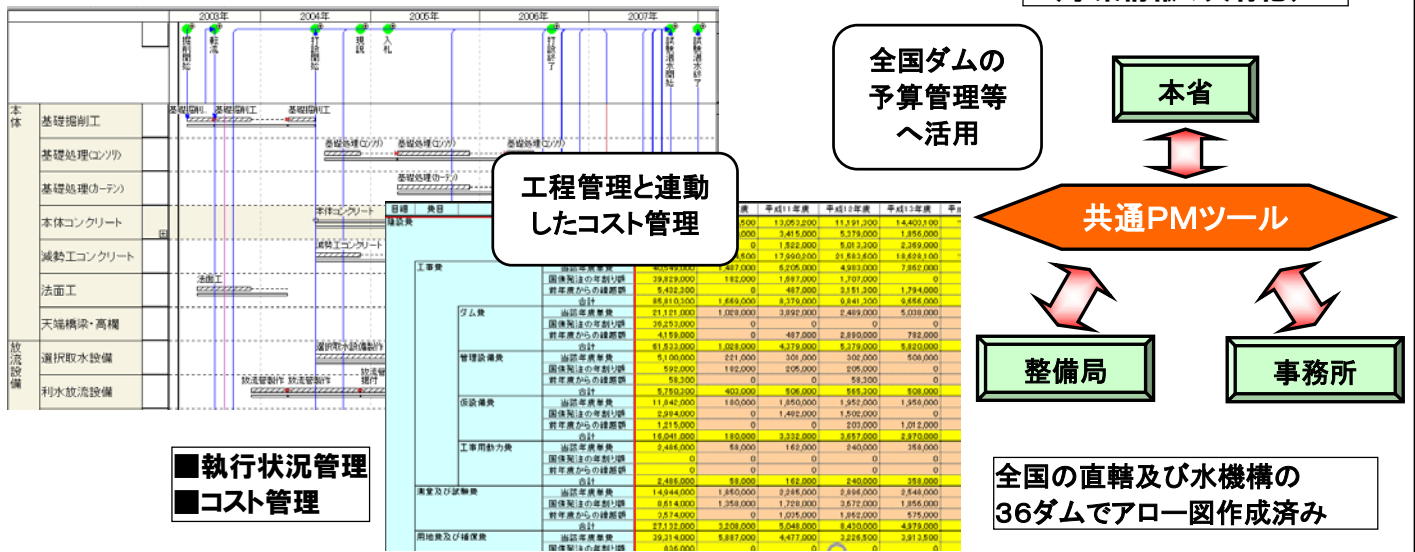
ダム事業については、社会経済情勢の変化等に伴う事業を巡る批判や新たなニーズに積極的に応えるべく、事業マネジメントの徹底・透明性の確保、より効率的な予算執行、コスト削減の新たな取り組み、環境への配慮、既存ダムの活用等の取り組みを通じて、ダム事業改革を推進する。

事業マネジメントの徹底・透明性の確保

★工程・コスト管理を徹底するための工程コスト統合管理システム(共通PMツール)を構築

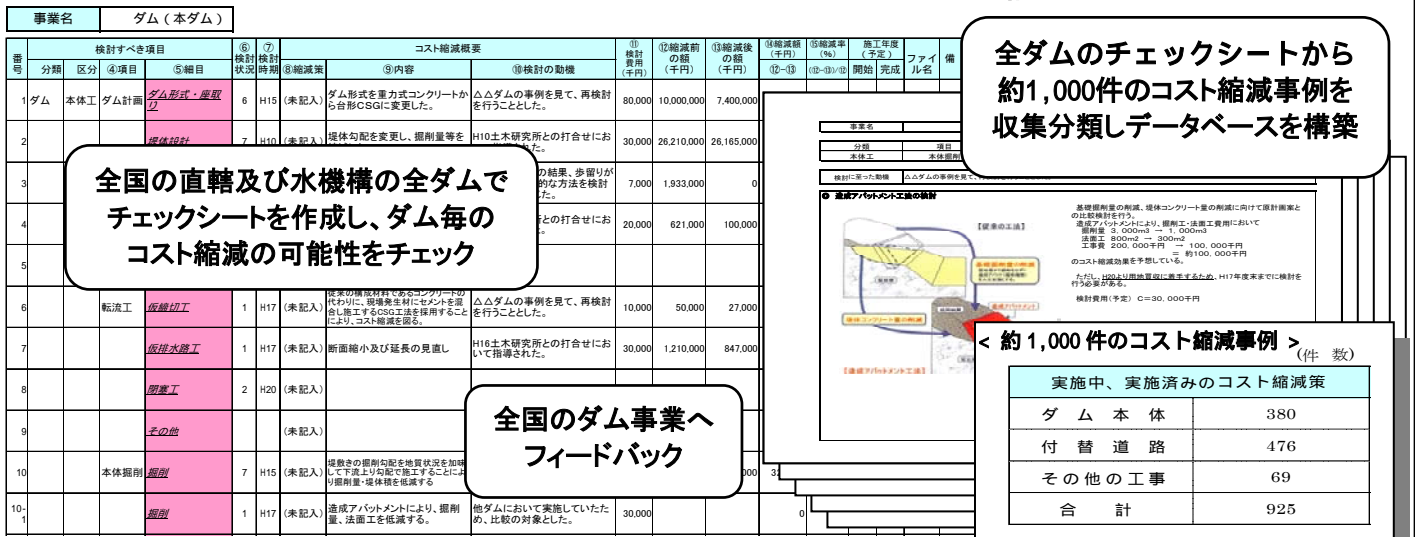
- アロー図による工程管理
- クリティカルパスの把握

- 各部門における共有管理(事業情報の共有化)



計画・設計・施工等あらゆる段階でのコスト削減

★コスト削減への取り組みを全ダムに徹底するコスト削減マネジメントシステムを構築



★個別ダムにおいても、新たな入札契約方式の導入等(ハツ場ダム、湯西川ダム、徳山ダム、大滝ダム)等

★コスト削減額等は、ダム間流用の弾力的実施などにより、ダム事業全体で有効に活用